

## 分散調剤システムによる業務効率化（第4回）

株式会社山梨薬剤センター 薬剤課長 廣瀬 徹

### 〈今後の課題・将来像〉

当薬局の展望、将来像としては、地域の皆様に愛される薬局になることを第一と考えています。「かかりつけ薬局」「かかりつけ薬剤師」として患者様一人一人から信頼され、今まで以上に「ありがとう」と言ってもらえる薬局にしたいと思っています。薬局名に「薬局」が入っていないせいか、皆様に利用して頂いても知名度は意外に低く、電話で問い合わせをしても、どこの薬局だろう？と考えられている姿が感じられる程です。今後は「山梨薬剤センター」という名前を地域の皆様や県内の皆様に知って頂く努力をして行きたいと思っています。

1. 地域で開かれる会合等に積極的に出席して薬の飲み方や相談・アドバイスをする
2. 現在もボランティア活動として24

時間テレビ等に協賛していますが、今後は当社独自の企画を考える調剤を通しての医療貢献に留まらず、車イス等介護用品を市町村に寄附したりと一企業として社会貢献に目を向けていたいと思っています。

前回に書きましたように、幸い当薬局の調剤機器は充実しています。今後も効率化のためには会社は更に充実を図ってくれるようです。施設に恵まれ、人材に恵まれて私としてはとても仕事のしやすい環境です。今を見つめながら将来を常に考えて行かなければなりません。これからの医療業界も今以上に厳しい時代が来ると思います。その中で勝ち残る事はもちろん、この地元の中核薬局として周りの薬局からも信頼される薬局を目指して社員と共に歩んで行きたいと思っています。

〈完〉